

守山の「スポーツ」の魅力を探る

ビッグレイクの取材でインタビューに答えてくれた皆さん



サッカーコートと三上山、野洲川歴史公園内を見学するジュニアリポーター

かつての野洲川跡地にある野洲川歴史公園サッカー場「ビッグレイク」の取材から、今回のテーマ「守山のスポーツ」をレポートします。

今年、野洲川放水路通水40周年です。野洲川の跡地に整備された野洲川歴史公園のサッカー場ビッグレイクは、2005年に開園し、6万4千㎡の敷地に、人工芝コートと天然芝コート計3面があり、大きな大会も開催されています。

ビッグレイクの指定管理者である守山市文化体育振興事業団は、市民運動公園など市域全体でほかのスポーツ施設や文化施設の指定管理もしています。

サッカーが盛んな守山市では子どもから大人までたくさんの市民がサッカーを楽しんでいて、ビッグレイクでもプロを目指すレイジエンド滋賀FCがホームグラウンドとして活動の拠点にしています。2024びわこ国体のサッカー会場となる事も決まっています。

同事業団でもサッカーを中心に市内のスポーツを盛り上げる取り組みや、サッカー以外にもビッグレイク内にジョギングコースを設けたり、天体観測会を開催するなど、広く市民に施設を活用してもらおうとさまざまな事業を展開しています。

モリヤマジュニアリポーターは守山の魅力について、テーマの検討から現地でのインタビュー、写真撮影、執筆まで行い、小学生リポーター独自の目線で紹介するコーナーです。

- ①初めてサッカーを体験する川那辺さん
- ②カメラ撮影に夢中の田中さん
- ③田園空間センターの職員と名刺交換で取材スタート
- ④コートの管理倉庫
- ⑤選手にインタビュー
- ⑥天然芝の感触を確かめてみる

サッカーコート管理は必要な機械がたくさん

ビッグレイクの小寺 英行さんにコートの管理が大変だということを知りました。倉庫に連れていってもらいました。そして、コートの管理に必要な機械がたくさんありました。

その中で、私が一番おもしろそうだなと思ったのは、白線引きです。私の学校では、粉みたいなのですが、ビッグレイクではペンキみたいな液体でした。学校のは砂と混ぜてすぐに消えちゃうけど、ビッグレイクの白線は消えないそうです。毎日きれいに管理をしているから、天然芝のコートは緑がきれいです。

ビッグレイクや運動公園などスポーツする場所がいっぱい

守山市でスポーツができる場所は、ビッグレイク以外にも運動公園や河川公園、学校のグラウンド(体育館など)があります。

ビッグレイクは、おもにサッカーをしています。天然芝では、ラグビーやグラウンド・ゴルフもできます。サッカーでは、レイジエンド滋賀FCの選手も練習していました。小さな子たちのサッカー教室などもやっています。

守山市には、スポーツができる場所がたくさんあって、みんながスポーツをしています。いいなと思いました。

野洲川歴史公園の中は川の流れる風景を再現

野洲川歴史公園は、野洲川の北流の跡地に造られました。そこは、昔の野洲川の歴史が再現されていて、三上山や田んぼがあり、道は川の形になっています。

今までに何度か行ったことがあったけれど、そんな意味がかくされていたなんて思いもしませんでした。

公園の中には野洲川のことを教えてくれる田園空間センターとビッグレイクというサッカー場があります。

土曜日や日曜日には駐車場が満車になるほどたくさんの方が来るそうです。

ビッグレイクが拠点のレイジエンド滋賀FC

レイジエンド滋賀FCはビッグレイクを拠点として活動しているサッカーチームです。

レイジエンドとはレイク(湖)とレンジンド(伝説)を合わせた名前前で、30人くらい登録選手がいるそうです。

練習は人工芝コートが多く、試合は天然芝コートが多いと聞きました。練習を少し見せてもらいましたが、キックが強くてすく上手でした。

Jリーグにいけるよう、今後も試合を見に行つて応援したいと思っています。

